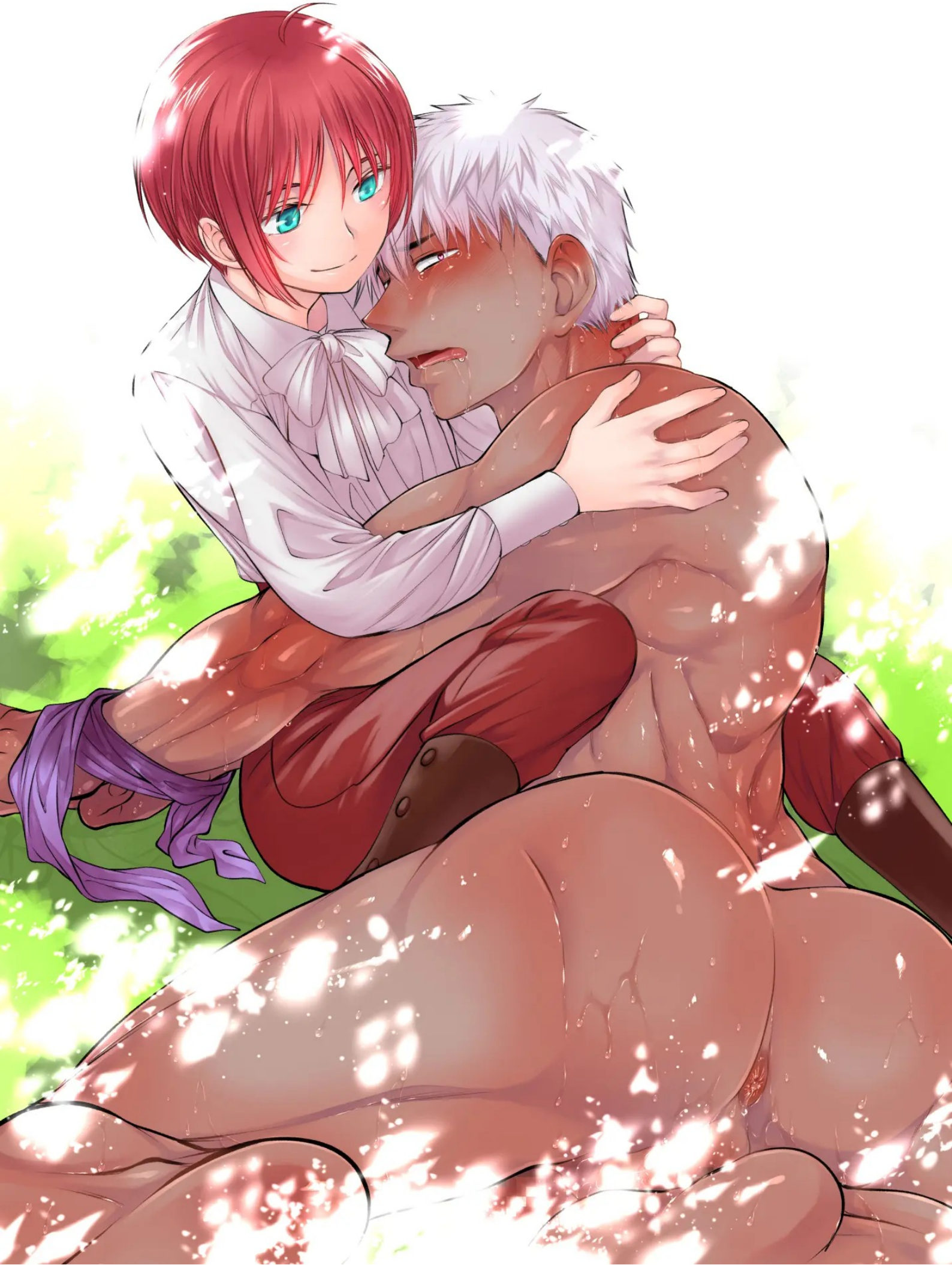

最強戦士（オメガ）は
可憐な運命（アルファ）に
あらがいたい！




この世界には
男女とは別に3つの性がある
世界の人口の多くを占める
ベータと呼ばれる一般庶民
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
あっ
や…いやだ！
触んな!!
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
ばた
ばた
や…
やだ…
はっ…
はっ…
はっ…
やめろ…っ
やめて…
ガクガク
ガクガク
ガクガク


王族や貴族支配階級に多いアルファ
男女共に孕ませるための生殖機能を持つ
そしてオメガ
その数は極端に少なく
女だけでなく男であっても
孕む事ができる性
淫魔憑きめ
オメガには発情期があり
その甘い香りはアルファを惑わし
理性を奪う
それは時にベータをも
誘惑し獣のように盛る
それ故に彼らは淫魔憑きと呼ばれ
蔑まれる存在であった
見ろよチンポが欲しくて
もうグッチョグチョに
濡れてやがるぜ
なんで…
体熱い…
力入んない…
ひい
おまえが
俺らを誘惑したんだ
淫魔憑き…？
俺が…？
うそだ…
そんな…
だって俺は
ベータ…


おまえもしかして
発情期ははじめてか？
発情期…？
ベータにそんなもの
あるわけない…
おい
こいつ自分が淫魔憑きだって
知らなかったみてえだぜ？
知らねえくせに
誘惑してきたのかよ
甘い匂い撒き散らしやがって
ちがう…
俺は淫魔憑き
なんかじゃない…
誘惑なんかしてない…っ
違う…ッ
違うのに…ッ
からだ…
おかしい
なんで…


見ろよ
いい声で啼き始めた
これだからオメガはよお
俺…
匂いも強くなってきた
発情期のオメガやべぇな
アルファの理性奪うはずだぜ
俺…オメガなの…
おら！
もっと啼け！
オメガだから…
こんな目にあうの
からだが…
快楽に逆らえない…
こんなに射精されたら
ベータの種でも
孕むんじゃねえか？
いやだ…
アルファの種しか
孕まねえっていうもんなァ
試してみようぜ
孕め！
孕め！
おらッ
こんなのいやだ…ッ


はー…
はー…
はー…
びくっ
びくっ
びくっ
このまま…
ここにいたら…
はー…
はー…
はー…
また襲われる…
よろっ…
逃げなきゃ…
逃げなきゃ…っ
ボタ…
ボタ…
誰も俺を知らない所に…
オメガはね
アルファにうなじを
噛まれると番にされて
そのアルファに一生
支配されてしまうんだ
うぅ…
ぶるっ
びくっ
びくっ
びくっ
ゴプッ…


番になったオメガは身も心もアルファのものになる…
でもアルファは違うアルファはオメガを捨てられる
ああ…ヴォルフおまえはオメガにならないで…
どこぞのアルファの番にされて俺を産んで…捨てられて…死んでしまった父さん…


あいつらがアルファだったら…
俺も支配されてたのかもしれない…
ふー…っ
ふー…っ
ふー…っ
俺はそんなのは嫌だ
俺は絶対支配なんかされない
抗ってやる！


その時から俺は俺自身を守るために体を鍛えた
そして誰よりも強くなった


俺はもう誰にも何にも負けねえ
おいあいつ
ドラゴンを1人で倒したらしいぞ…
まじかよ…
あの辺境のハイドラゴンを？
名だたる騎士が挑んでも
無理だったやつを？
この街に冒険者ギルドはあるか？
それなら
マーケットの外れに…


淫魔憑きと蔑まれた俺は今
最強と呼ばれている
俺はもうオメガの血に
振り回されたりもしねえ
キィッ
発情期だって抑え込める
そう
思ってたのに
ドカ


すれ違った瞬間
それは始まった


抗いがたい発情
はっ
はっ
はっ
はっ
あ…
ドロ…


え…
ガタ
ガタ
ガタ
少し我慢して
こっちへ！


俺…発情してる…!?
INN


ちゅ…♡
ぴちゃ…♡
はぁ…♡
あ…♡
あ♡
あっ♡
びくっ♡
なぁ♡
なぁ♡
びくっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
あっ
ご…ごめんなさい…
はぁ♡
はぁっ♡
はぁっ♡
はぁ♡
ぼく…なにを…
んんっ
ふーっ♡
ふーっ♡
ふーっ♡
ふっ♡
ふっ♡
や…
ビリビリッ
ビリビリッ




なんで…
今までこんな事…っ
ぶー♡
ぶー♡
ちゅく♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
はあ♡
あっ
だめ…
はあ♡
だめですっ
はあ♡
はあ♡
他のアルファの前でも
こんな事…なかったのに
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅっ♡


おっ♡
孕みたい
おっ♡
孕みたい
おっ♡
このアルファの子を
どうしようもなく孕みたい…ッ
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
ガクガク
ああ…
あっ♡
ダメ…♡
擦らないで…♡
自分を守って鍛えた数年が
一瞬で無意味になった


それから
どのくらい経ったのか…
アルファに跨り
自分から何度も
性器を擦りつけ…
俺(オメガ)が…アルファを…
犯してる…
きも…ちぃ
きもちいいッ
欲しい…欲しい…


止まらない…
あ…
おおおおー
ぶるっ
ぶるっ
ふー…


ふーっ…ふーっ…
ばあっ♡
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
はっ♡はっ♡
あぁっ♡
あ〜♡
は〜♡
ドクッドクッ
な〜♡


逆らえない…
支配される…
名前…教えて…ください…
ぼくはリュート


なま…え…？
そんなもの…
どうだっていい
なんで…
どうせもう…
会うこともねえ…
はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡
あなたの名前を
呼びたい…
ぼくの名前も
呼んで欲しい…
はあ♡
はあ♡
お…教え…る
意味なんか…
ねえ…ッ
ま…♡
おおおおっ♡
お♡


一瞬理性が戻ってもすぐに吹き飛ぶ
ふー♡
ふー♡
ふー♡
名前…教えて？
はぁ♡
はっ♡
はぁ♡
はっ♡
はぁ♡
ガク ガク
ガク ガク
ヴォ…イス
ヴォイス…っ
びくっ♡
びくっ♡
びくっ♡
ああ…意味なんてないのに…
ふー♡
ヴォイス…
ヴォイス…
びくっ♡
びくっ♡
こんな…名を呼ばれるだけで…
びくん♡
よ…ぶな…呼ぶな…ぁ
びくっ♡
びくっ♡
ぶしゃっ
ぶしゃっ

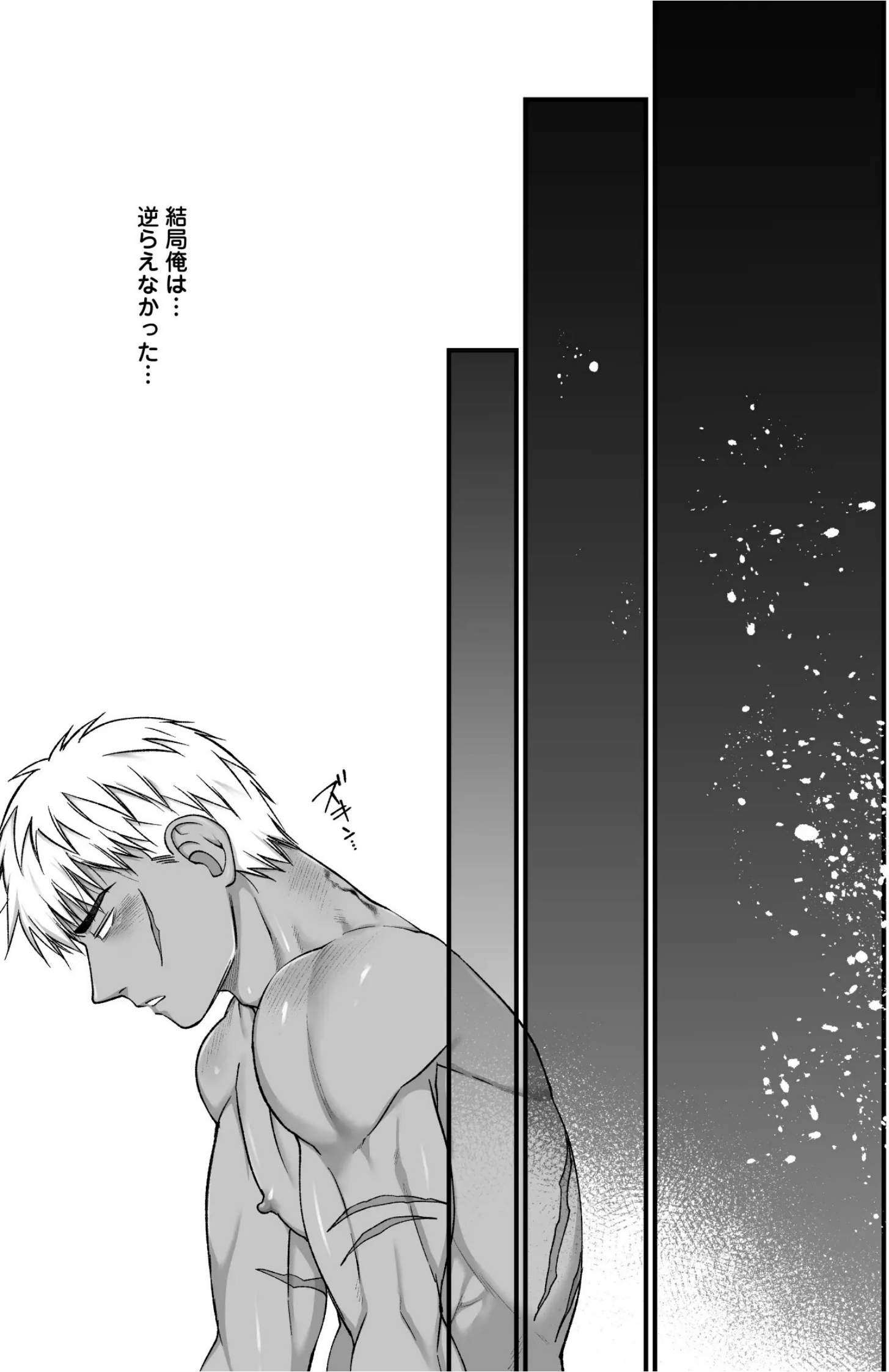

ガク♡
はあっ♡
ガクッ♡
はあっ♡
はあっ♡
きゅん♡
はあっ♡
きゅん♡
お…♡
噛まれ…たい!?
びくっ♡
お…♡
びくっ♡
ヴォイス…ぼくの番になってください
はー…♡
はー…♡
はー…♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ドクン
ドクン
俺…は…番になんか…
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐぷっ♡
ぎゃ…
お願い…ぼくのものになって…
はー…♡
はー…♡
はー…♡
はー…♡
あ…
あ…
ドクン…
ドクン…
駄目だ…
ここは…
ここだけは…
噛まれ…たら…
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
はー♡
はー♡
はー♡


ヴォイス…！
無理だ…こんなの…
抗えるわけがない…
腹の奥が
欲しがって離さない…
身体は支配されても…
せめて心までではと思ったのに…
これが…アルファとの交尾…


噛んで…くれ…
はー♡
はー♡
はー♡
番に…して…
ガクガク
欲しい…
欲しい…
このアルファが欲しい…
ガク
早く…
噛んで…
噛んで…
孕ませて…
あ…あ…っ♡
ごぷっ♡
体の中が…
変えられていく…


奥…熱い…
熱い…っ


俺は…どうしようもなくオメガだ…
はっ…
はらむっ♡


結局俺は…
逆らえなかった…
ズキン…


何度も中に注がれて感じて我を忘れて…
最後には自分から支配を求めた…
ズキン…ズキン…
はー…
後始末されてる…
すぅ…すぅ…
自分よりでかい男をどうやって…
こんなガキに…
ぜっ
ぜっ
ぷるっ♡
ぴくっ♡
キュゥゥ♡


ああ…服がぼろぼろだ
どうするか…
こいつが
目覚める前に
逃げないと
ん？
逃げないでください…
お願いです…
俺は…
俺はアルファに
支配されるなんざ
まっぴらだ
違います
支配されてるのは
ぼくの方です

運命…って信じますか？

信じねえ…

そんなもんに縛られて…
俺の父さんは死んだ…

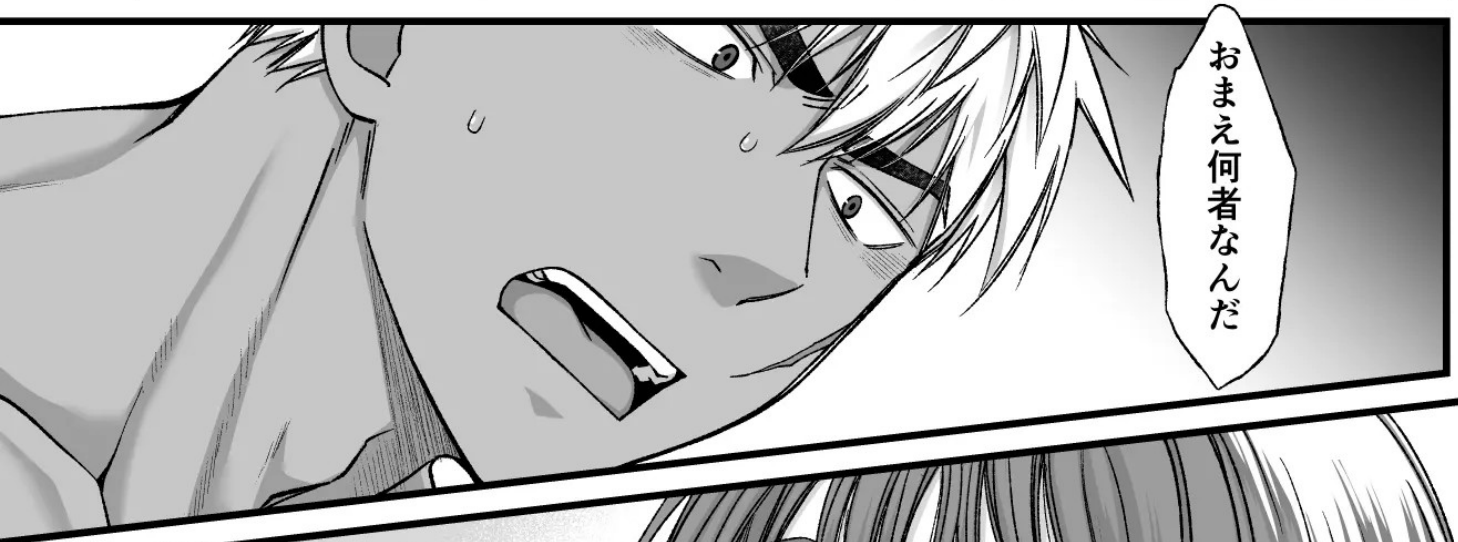
ぼくは信じてます
ずっといつか会えるって
信じて

誰かも知らない
アルファの姫君と
結婚させられそうになって
逃げてきたんです

……

…姫君…？？？？


あなたとすれ違った時
運命だってすぐにわか…
おい
ちょっと待て
姫だと？


おまえ何者なんだ


ぼくはこの国の
第13王子ですが


王子!?
そんなの
どうでもいいじゃないですか
第13王子ですよ
継承権もないに等しいですし
よくないだろ!?


どうでもいいんですよ
本当に
国は兄が継ぎますし
結婚だって
ぼくはあなたと
一緒にいたいので


今はまだ
体も小さいしあなたには
敵わないです
でも
いつか追い越して見せます
あなたを守るために


だから…
貴方と共にいてもいいですか？
一生大事にします！
断る!!


まだ足りませんか…？
ちゅ♡
は…っ♡
びくっ♡
こいつ…
とんでもねえぞ!?
んっ♡
んっ♡
んんっ♡
びくっ♡
びくっ♡
びくっ♡
ぐっ♡
ん♡
びくっ♡
じゅおぉ♡
びくっ♡
抗ってやる…
絶対抗ってやるからな！
びくっ♡
びくんっ♡
END